

西原総長の期待に応えよう!

会長 福井忠雄 (29)

一九五八年(昭和33年)1月17日銀座山葉ホールで開かれた第1回稲門クリーククラブ定期演奏会プログラム第1頁に次のようなことが書かれている。「本日皆様を前に第1回の発表会を開くに当り、我々クラブ員一同、感慨誠に無量であります。昭和28年春の発足以来の日の数の不足は

多田武彦氏の作品がとりあげられ、組曲「柳川風俗詩」よりリ柳川、組曲「富士山」より作品第肆、作品第拾陸が歌われていた。

今度の台湾演奏旅行で奇しくも「富士山」より4曲が歌われることになったが、この時の出演メンバーが次の諸君が参加する。T1内田(29)、阿部(30)、T2津田(23)、平井(29)、福井(29)、山本(31)、飯沢(32)、B1坪井(28)、志賀(29)の9君である。

このようにして出発した稲テを實現させ、本年を稲グリが30有余年の間に、コンクールへの挑戦として全国優勝、シヨスタクウィッチ追悼演奏会(バビヤール)、20回の定演、5回のOB四連等を初め海外遠征を迎えることになった。正に感慨無量である。演奏面に於ても「岬の墓」筑後川「海の構図」とこの年の充実ぶりは目覚ましい。この熱気を5月の台湾の空に爆発させ、その勢いをまっぴら11月の定演には100名のオンス心からなる声援を願う次第です。

西原早大総長のメッセージを携え、台北・高雄の両市を公式訪問し、市主催の演奏会に出演する我々の演奏が聴衆に感動を与えらるるものでなければならぬことは勿論であるし、必ず成功させねばならない。出発まであと一ヶ月あまり、頑張つて練習に参加しよう。また、諸般の事情で参加できないメンバー諸兄にも

音楽の心

指揮者 山本健二 (31)

台湾は世界的な蝶の棲息地です。富士山は作品第壹は奇しくも億萬萬の蝶が舞うという歌い出しで始まります。霞たなびく広大な富士の裾野に標りなげうれ

は大工になるには木を知り、木を知るには上を知り、上を知るには対話、そしてそれうの心になることが大切であると言っています。我々の詩の心を我が心とした曲の抒情を我が抒情とした技術的な積み重ねを基本にしながうメンバ

情感の世界をどう表現するかということが演奏者にとつて、これからの表現技術を習得することには永遠の課題なのです。16年間師事しました中山

は高度な技術に裏打ちされたい。法隆寺大工の西岡常一さん

村矢輩と一緒に音楽づくりをします。今回は、全員の力を集めベストを

演奏曲一覽

- I 男声合唱組曲「富士山」より
 - 作品 第壹 (1)
 - 作品 第肆 (4)
 - 作品 第拾陸 (16)
 - 作品 第貳拾壹 (21)
 - II 世界の歌
 - ① AURA LEE (Robert Shaw, 編)
 - ② タヤけこやけ (草川信曲, 磯部叔編)
 - ③ 台湾の歌 (題不明)
 - ④ Ideale (Tosti)
 - ⑤ Soon Ah will be done (Dawson, 編)
 - III 山田耕作作品集 (岡氏生誕100年記念)
 - ① この道 ② あわて床屋 ③ かやの木山の
 - ④ 曼珠沙華 ⑤ 待ちぼうけ (以上 詩北東白秋)
 - ⑥ 赤とんぼ (詩 三木露風) 全曲 平野淳一編曲
 - IV その他
 - ① ウィーン我が町 ② 北国の春
 - ③ ハレルヤコーラス ④ 逸かな友に
- ステージ順は栄屋(台北)、婦女(高雄)のステージ構成により異なります。最初に「中華民國国歌」演奏あり。

諸準備はお早目に

海外マネ
加藤晴生(37)

台湾演奏旅行までいよいよあと一カ月余りとなりましたが、渡台インステメンパー数は別表定の通り52名となり、台湾の大会場でも十分な演奏ができる見通しが立ちました。

この上は演奏の味に磨きをかけて、参加できない人の分まで歌いまくりたいものです。

なお、高雄演奏会が会場の都合で5月4日夜となりました。以下当面の手続等です。

- 費用(総額(二人)11万5千円 全額4月1日までに石原会計(33)に支払い。)
 - パスポート 4月1日までに加藤(37)、岩淵(58)免提出
 - ビザ(通行査証)要写真一枚(マネジャー一括取得 (帰国日をものぼす人は早急にマネジャーまで申出のこと))
 - 集合時間 午前8時 日本アジア航空カウンター前
- 集合時間は厳守して下さい。

成田に着く前に検問(5分)があるのと時間の余裕をとること。出発前夜成田のホテルに泊る人は観光シーズン故早目に予約のこと。

台湾内での移動はバスなのでスペースに限度があること。空渡での手続、手間等の簡便のため、各自の荷物はできるだけ少なくする様お願い致します。

■出国税(別途マネジャー徴収) (成田 二千円(入) 台北 NT\$二百円(約千四百円) その他、逐一練習場等まで連絡します。問合せは富永(35)、加藤(37)、岩淵(58)まで。

早大剣-OB会・稲門剣-クラブ

台湾訪問親善演奏旅行"日程"

- 5月1日(木) 08:00 新東京国際空港(成田)南ウイング 日本アジア航空カウンター前集合 (時間厳守!)
- 10:10 成田発(EG201便)
- 12:50 台北着(現地時間、時差-1H)
- 15:00 頃 天成大飯店チェックイン (Cosmos Hotel 8(02)3118901-2)
- 16:00 練習
- 19:00 歓迎パーティー(主催 早大校友会) — 台北泊 —
- 2日(金) 09:00 国立故宫博物院見学
- 12:00 昼食
- 13:00 自由時間
- 15:00 練習
- 19:30 台北演奏会 (於:台北市社会教育会館) — 台北泊 —
- 3日(土) 08:00 天成大飯店発(バス) (途中観光)
- 15:00 華王大飯店チェックイン (Hotel Kingdom 8(09)551-8211)
- 15:00 練習
- 19:00 夕食 — 高雄泊 —
- 4日(日) 08:00 高雄近郊観光
- 12:00 昼食
- 13:00 自由時間
- 15:00 練習
- 19:30 高雄演奏会 (於:中正文化中心) — 高雄泊 —
- 5日(月) 06:00 高雄ホテル発(バス)
- 13:20 台北発(EG204便)
- 17:00 成田着・解散

参加メンバー一覽

《特別参加》岡村喬生(29)

- ★団長 ★副団長
◎マネジャー ◎ステージマネジャー Pピアノ伴奏
團指揮者 ○パトリーター

(T1)

- 長尾 要(24)
内田 裕和(27)
阿部 美博(30)
石原 祥弘(35)
○奈良原秀三(36)・夫人
堀内 啓吉(37)
顔原信二郎(42)・夫人
永井 秀夫
村上 實(44)
石坂 盧(46)
安 望(57)
(11名)

(T2)

- 中岡 敏雄(12)・夫人
津田 照通(23)
平井 滋(29)
★★福井 忠雄・夫人
山本 健二(31)
飯沢 郁郎(32)
松並 孝雄(35)
◎加藤 晴生(37)
耕納 邦雄
関口 教和
◎土屋 信吾(44)
伊東 一郎(47)
山本 正洋(57)・夫人
(13名)

(B1)

- 玉崎 洋一(27)・夫人
坪井 秀夫(28)
★志賀 信(29)・夫人
徳田 浩(31)
茨木 泰隆(35)
◎富永 侃・夫人
児玉 康夫(38)
岩本 孝嗣(39)
吉田 征一郎(42)・夫人
菊地 隆一(46)
◎岩淵 靖宏(58)
(11名)

(B2)

- 植木 潔身(26)・夫人
森 節雄(29)
森 良磨(32)
○浅井 光雄(35)
板垣 滋・夫人
宮地 和夫
井沢 良雄(36)・姉
浦野 坦
辻田 行男(37)
横尾 正稔
榎本 文男(38)
大石 宗三
清水 卓爾(40)
和田 清(42)
佐藤 公俊(48)
P阿部 滋(57)
(16名)

合計 64名(メンバー 52名+夫人等 12名)

「ハミダシ情報」今号の「ハミダシ情報」はお休みです。すみません。どなたか「ハレー」の星の記事をご寄稿下さい。

「大阪稲グリ」と聞いただけで……

大阪稲グリ指揮者 阿部良行(41)

「オレの結婚30周年を大阪稲グリ創立30周年で盛り上げてくれヨ！」と氣勢を上げる阿部永世会長のものと、キタのピヤホールで「ビールはサッポロ!!」飲み放題、喰い放題の中、ヤカマシく行われた大総会。去年と同じく会長に坪井秀夫(28)副会長に田口義之(30)新田義邦(30)会計に有田直之(41)など役員が選出された。阿部は30周年記念事業実行委員長を兼任し、行事予定に移動した。6月の合唱祭に坪井秀夫指揮によるニゴロ。10月のコンクールのには藤野充(40)指揮の日本物。さて、問題の30周年特別イベントは11月2日宮崎で演奏会へ現地マネージは古殿氏(38)。62年1月25日に大阪

新しい季節へのまなざしが……

61年卒団生代表・青木伸行

大学四年間(グリーンライフ)四年間と言った方が的確かも知れませんが、というものは誠に短いもので、遂に私達も「卒団生」としての送別演奏会を迎えるに至ってしまいました。この日はまず現役・卒団生合同の愛唱歌ステイジで幕が開きました。果たして最終ステージまで声かもつかと懸念される程の力強いステイジで好調な滑り出しを示しました。(岡村喬生大先輩がいらしたのも手伝ってますます力かこもったのでした)第二ス

た。この日はまず現役・卒団生合同の愛唱歌ステイジで幕が開きました。果たして最終ステージまで声かもつかと懸念される程の力強いステイジで好調な滑り出しを示しました。(岡村喬生大先輩がいらしたのも手伝ってますます力かこもったのでした)第二ス

厚生年金会館で記念演奏会が決定! 大阪稲グリ愛唱歌集の出版、国史編纂、作品委嘱、稲グリ会館建設基金設立、シンボルマーク制定、団旗新調、記念

六時から九時までグリーンホール

第35回送別演奏会を聴いて——T.永井秀夫(42)

毎度ゴルフの記事ばかりで、奴は何しに稲グリへ行つてんだ」と思われるのも悔しい。RE THE WORLDの演奏に自ら感動し、遙かな友に「で私達のグリーンライフも完全に幕を閉じました。思えばこの一年間、特にヨロップパ演奏旅行等で大変お世話になったことを、OBの皆様、そして名OB担当マネージャー石川了君に深く感謝しております。これからOBの皆様の間に入りをお願いします。どうぞよろしくお願致します。



植樹、会長の又イグルミ、Tシャツ、柱抜き、ジグゾーパズルなど稲グリグッズ販売、会長杯争奪特別コンペ……など言いたい放題でした。(全くどこまで本気にしてよいのやら……。編集子談) だが今演奏会で筆者が最も感激したのは又通・池谷両先生のピアノ伴奏である。コンダクターの突然の欠場でややもすれば弱気になりがちな若いメンバーを精神面演奏面で見事に盛り立て腕も折れよとばかり熱演された姿を私は忘れ得ない。この紙面を借りて両先生に心からの御礼と大きな拍手を改めて送りたい。 さて新卒団生諸君へ!! 都会生活で今まで通りの野放図な声を出せるのは走っている車の中か毎週火曜日の稲グリの練習しかない。(カラオケという手もあるが我々みたいにはうますぎるとかえってイヤミだしへたも困る。いずれにしても電車通勤組は必然的に稲グリの練習に来る様になるのです。フレッシュアップの参加を我々は両手を挙げて歓迎します。稲グリは今やロール合唱団ではございませぬ。オジサンたてであと20年や25年はハイCを張るのだー!!